

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		12/22 （12/15との比較）	12/22 （12/15との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.03% （+0.19）	88.99円 （+1.66%）	+3.0% 2017年3Q	1.00%	前月比でGDP（国内総生産）は市場予想を下回るも、CPIや小売売上高が市場予想を上回り、中銀の利上げ可能性がやや高まったことから、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	主な経済指標の発表はなし。クリスマス休暇で主要な市場が休場になるなど市場参加者が少なくなる中、原油価格の動向に注意しつつも、債券・為替市場は引き続きレンジ内の推移を予想。
	Aaa	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.49% （▲0.11）	33.95円 （▲0.66%）	+1.4% 2017年3Q	7.00%	経常収支は市場予想を下回る結果。メイレス財務相は、年金改革法案が延期されたことで債務格付が引き下げられる可能性についてネガティブな見解を示唆したことから、レアルは対円で下落。国債利回りは低下。	基礎的財政収支などの発表を予定。米大手格付機関が、年金改革案が来年に持ち越されれば債務格付が引き下げられる可能性が高まると示唆していたことに加え、政治リスクの残存から、為替市場は上値の重い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.71% （+0.26）	5.74円 （▲2.63%）	+1.5% 2017年3Q	7.25%	小売売上高は市場予想を上回るも、失業率は市場予想を下回るなど経済指標はまちまちな結果。与党の元高官が政府資金を流用した疑いで逮捕されたことで政治リスクがやや強まり、ペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	貿易収支などの発表を予定。高金利が引き続きペソをサポートする一方、同国の政治やNAFTA（北米自由貿易協定）の不透明感から、為替市場の上値は重い展開を想定。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		12/22 （12/15との比較）	12/22 （12/15との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.71% （+0.19）	87.31円 （+1.41%）	+2.8% 2017年3Q	1.50%	景気先行指数は前回よりもやや低調な結果。公表された経済・財政中間見通しにおいて財政赤字が縮小するとの見通しが示されたことに加え、鉄鉱石価格の上昇が好感し、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	民間部門信用などの発表を予定。12月以降良好な経済指標などを受けて、豪ドルは大きく上昇したものの、年末で市場参加者が少なく、主な経済指標の発表もないことから、為替市場は底堅い展開を予想。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.75% （+0.03%）	79.53円 （+0.98%）	+2.7% 2017年3Q	1.75%	発表された7-9月期のGDPは、前期比+0.6%と市場予想通りの結果。ただし、過去の数値が上方修正され市場はやや好感。国債利回りは小幅上昇。ニュージーランドドルは対円で上昇。	週前半がクリスマス休暇であることに加え、新年まで特段材料等もなく、同国の要因を起点とした相場変動は見込まれないと予想。2018年の利上げ観測が維持されるかどうか、引き続き経済指標の見極めが必要。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.56% （+0.06）	13.62円 （+1.40%）	+3.2% 2017年3Q	0.50%	発表された失業率は2.4%と市場予想をやや上回ったものの、前回比で横ばい。クリスマス休暇を前に市場参加者は少なく、閑散とする中、国債利回りは上昇。ノルウェークローネは対円で上昇。	緩やかな景気拡大と、安定したインフレ環境が継続。週前半はクリスマス休暇のため、動意に乏しい展開を予想。週後半に小売売上高が発表されるものの、トレンドを形成するほどの材料とはならない見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		12/22 (12/15との比較) 今後の見通し (※4)	12/22 (12/15との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気の方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	7.69% (▲0.48)	8.97円 (+4.32%)	+0.8% 2017年3Q	6.75%	発表された財政収支は前月から赤字幅が縮小。与党党首選は、現副大統領が勝利。同国の抱えるさまざまな課題が解決されるとの期待が高まり、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	貿易統計などの発表を予定。与党党首選の結果を受けて、短期では選好されやすい地合いだが、長期では財政難など、山積みとなっている課題が同国の資産価格への下押し圧力となると想定。政治的なヘッドラインに要注意。
	Baa3	 金利上昇	 景気鈍化	 利下げ局面			
インドネシア 	BBB-	5.99% (▲0.05)	0.84円 (+0.72%)	+5.1% 2017年3Q	4.25%	格付機関フィッチが同国の債務格付をBBBへ引き上げ、見通しを「安定的」に変更。同国経済の外的ショックへの耐久性が強まったと評価されたことが好感され、ルピアは対円で上昇。国債利回りは低下。	マネーサプライの発表を予定。債務格付の引き上げを背景に、同国への資金流入が増加するとの期待が高まっており、インドネシアの資産市場は総じて底堅い推移になると予想。
	Baa3	 金利低下	 景気拡大	 利下げ局面			
インド 	BBB-	7.07% (+0.10)	1.77円 (+0.60%)	+6.3% 2017年3Q	6.00%	グジャラート州の選挙の開票結果が発表され、与党は単独過半数を維持したものの、前回よりも議席数は減少。ルピーは対円で上昇。国債利回りは上昇。	主な経済指標の発表はなし。市場は年末年始の閑散相場で動意の欠ける展開を予想するも、国内の安定した成長から下値は堅い展開を想定。引き続き、原油価格などの動向にも注意。
	Baa2	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面			

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

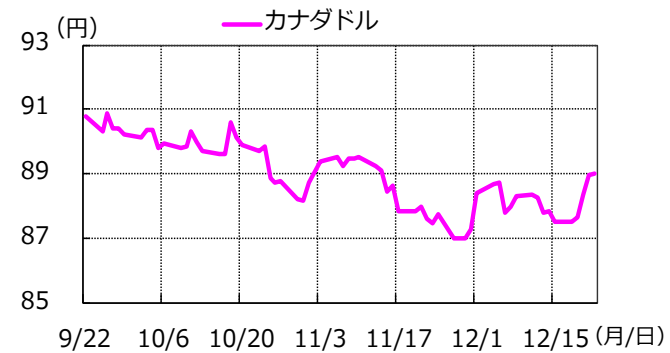
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

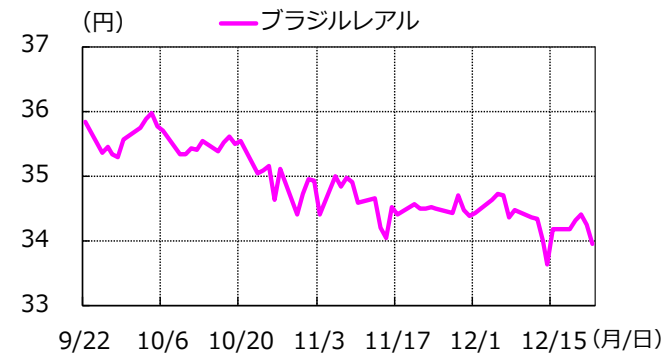
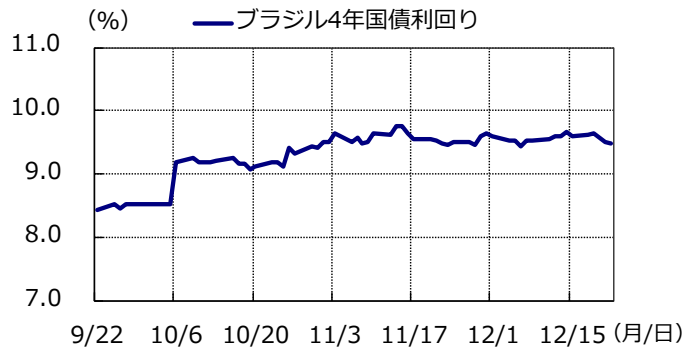
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/9/22～2017/12/22

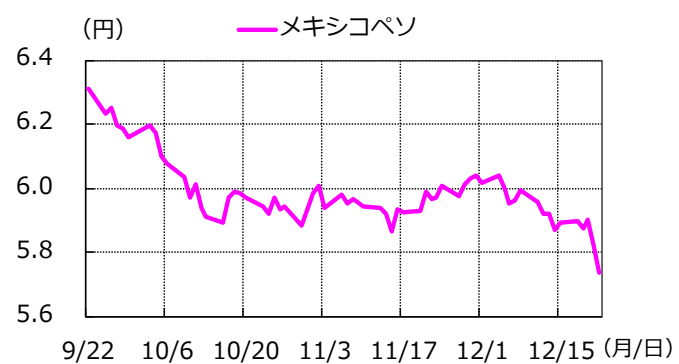
カナダ



ブラジル



メキシコ

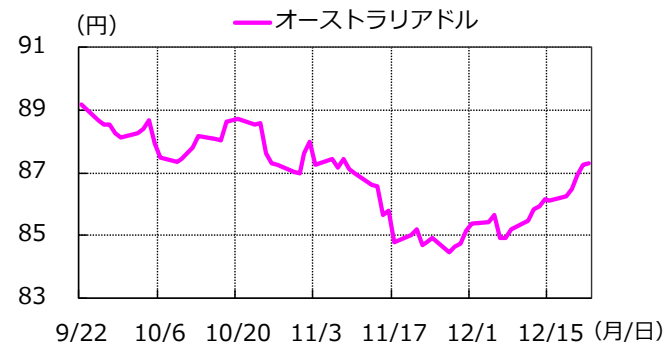


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

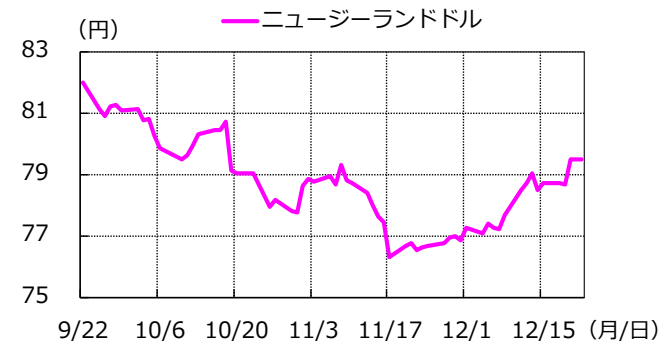
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/9/22～2017/12/22

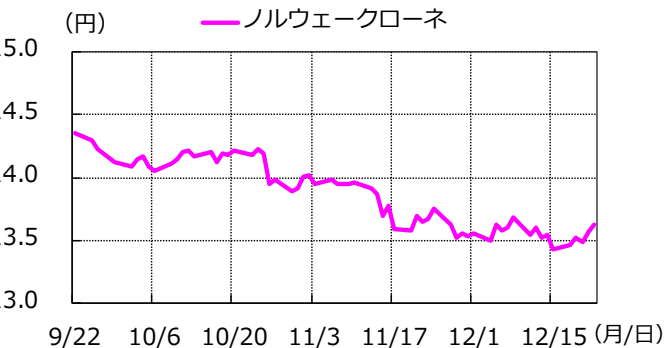
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

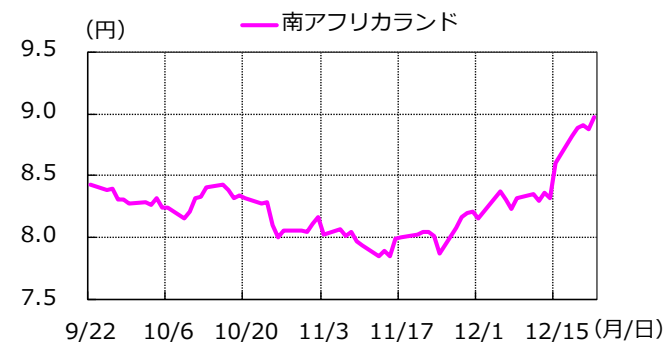


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

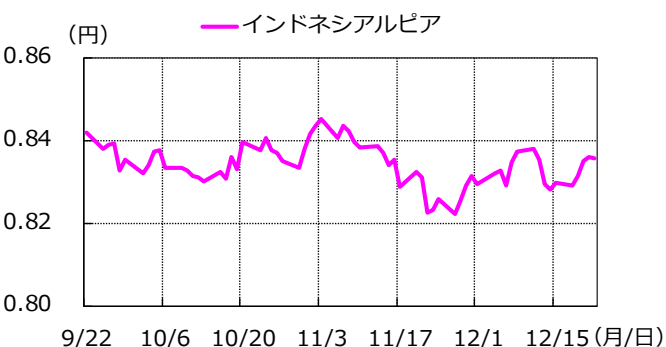
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/9/22～2017/12/22

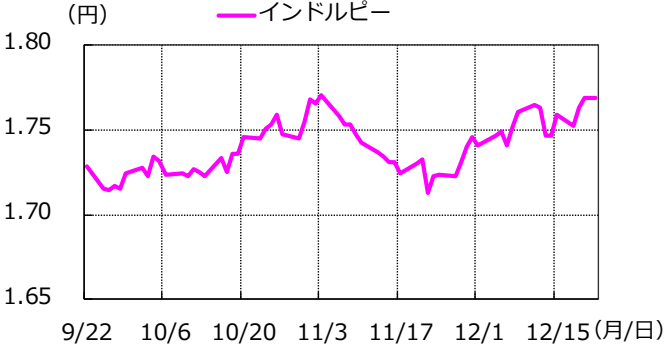
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。